

## 平成27年度事業の概況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成27年度には、大村智北里大学特別栄誉教授がノーベル生理学・医学賞、梶田隆章東京大学教授が同物理学賞を受賞されましたが、日本人の受賞は2年連続となりました。大村氏は寄生虫病治療薬の開発で途上国の医療に貢献され、梶田氏は素粒子ニュートリノの質量を発見し、宇宙の成り立ちの謎を解明する突破口を開きました。また、梶田氏は富山市に在住され、富山県にゆかりの方がノーベル賞を受賞されるのは、平成14年の田中耕一氏以来の快挙となり、県民に明るい話題を提供しました。

金融界におきましては、日銀の異次元緩和から3年目となりましたが、「2年で2%」という目標は先送りされ、達成は遠のいております。平成28年1月末に日銀として初めてのマイナス金利を導入しましたが、日銀の思惑とは反対に円高・株安が進んでおり、先行きの不透明感が増しております。

以上のような諸情勢の中、当組合は平成27年度に創立50周年を迎えたことにより、次の半世紀への飛躍を期すために、新たな創業元年の年と位置付けして、第二次中期経営計画を策定し、『新しい可能性に挑戦する』ことにいたしました。中期経営計画を受けて、新規開業資金等の資金需要を取り込むために、公的病院でのプレゼンテーション、税理士やコンサルティング会社への働きかけ、及び医薬品販売会社、医療機器販売会社、ハウスメーカー等の営業マンにもアプローチいたしました。

当組合としましては、先生方のお役にたてるよう、預金金利は出来る限り高く、貸出金利は出来る限り低く設定しております。その結果、平成28年3月末の実績につきまして、預金の年間増加額は1,520百万円、年間増加率は5.1%となり、安定的な増加を図ることができました。また、貸出金の年間増加額は886百万円、年間増加率は18.6%と大きな伸びを示しました。収益につきましては、102百万円の当期純利益を確保し、計画を上回りました。経営体力につきましても、自己資本比率は35%台と極めて高い水準を維持しております。組合員増強運動の実績につきましては、新規加入者は勤務医の先生を主体として、年間で73名加入し、増加数は53名となりました。

今年度も、当組合の使命達成のため邁進したく、引き続き当組合をご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

主 要 勘 定	当期末(28.3.31)	前期末(27.3.31)	増	減
総 預 金 (期中平均残高)	31,534 (30,457)	30,014 (28,833)	1,520 (1,624)	
総 貸 出 (期中平均残高)	5,638 (4,830)	4,752 (4,653)	886 (177)	
有 価 証 券 (期中平均残高)	19,613 (18,348)	18,678 (17,780)	935 (568)	
預 け 金 (期中平均残高)	11,075 (10,815)	10,660 (9,387)	414 (1,428)	
経 常 利 益	143	178		△35
当 期 純 利 益	102	129		△27
自 己 資 本 比 率	35.52%	37.48%		△1.96%
組 合 員 数	1,268 先	1,215 先		53 先